

第 33 回 唐の繁栄

1 唐の成立

- 隋末期の混乱の中から、618年、山西の豪族であった李淵が挙兵し、東突厥の援助を受けて（ ）を建国した。



李淵(高祖)

☆唐 (618～907年)

都… () ※現在の西安

- ◆ () (在位 618～626年)
- ・東突厥の援助を受けて長安を占領し、唐を建国した。



李世民(太宗)
中国史上最高の名君とされている。

- ◆ () (在位 626～649年)
- ・中国を統一して中央集権体制を整備した。
→この時代のすぐれた政治を「 」と呼ぶ。
- ・() を服属させ、チベット系の () と和平するなど、対外的にも唐の勢力を拡大した。



- ◆ () (在位 649～683年)
- ・657年、西突厥を破って唐に服属させた。
- ・() と組んで () と () を滅ぼし、唐の最大領域を達成した。
→しかしその後、新羅によって朝鮮半島からは撤退させられた。



高宗
本人よりも皇后の方が有名。

<唐の対外政策>

- ・唐は、6つの () を置いて周辺の諸民族を監督した。
※設置された順に、安西、安北、单于、安東、()、北庭都護府。
→周辺民族の長にそのまま支配させ、間接的な統治を行った。
※この政策を () という。



2 唐代の東アジア諸国

☆ () (7～9世紀)

都… ()

◆ () (在位?～649年)

- ・7世紀、吐谷渾を破ってチベットを統一した。
- ・インド文字をもとにして () を作成させた。
- ・9世紀、インドから入ってきた大乘仏教と、チベットの伝統的な宗教が融合し、 () が成立した。



チベットのラサ
なんと富士山の頂上とほぼ
同じ、標高 3700 メートルの
高さに築かれた。

☆ () (?～902年)

- ・チベット=ビルマ系の王朝で、唐と吐蕃の対立を利用して () を支配した。
- ・漢字など唐の文化を取り入れ、仏教を奨励した。

☆ () (698～926年)

都… ()

◆ () (在位 698～719年)

- ・ツングース系の靺鞨人と高句麗の遺民が、中国東北部に建国した。
- ・唐や日本と交易を行い、「海東の盛国」と呼ばれた。



☆ () (4世紀半ば～935年)

都… ()

- ・唐と結んで 660年に百済、668年に高句麗を滅ぼした。
→676年、さらに唐の勢力を朝鮮半島から追い出して、朝鮮半島を統一した。
- ・ () という独特の身分制度を用いていた。
- ・仏教を国教とし、都の慶州に () という仏教寺院を建立した。

☆ () (?～2022年現在)

都…飛鳥→藤原京→ () →平安京 ※中国にならった都城の制

- ・630年、 () が初めて派遣された。
- ・645年、大化の改新によって唐にならった律令国家体制が整備された。
→均田制の影響から班田収授法が施行され、銅銭も発行された。
- ・663年、 () で唐・新羅連合軍に大敗し、朝鮮半島から撤退した。
- ・8世紀初頭に唐との国交が回復されると、唐やシルクロードの影響を受けた () という国際色豊かな文化が栄えた。
→ () の白瑠璃碗はササン朝から唐を経て日本に伝わったとされる。



慶州の仏国寺

751年に建立された。木造部分は復元だが、石造多宝塔が非常に素晴らしい。世界遺産にも指定されている。



平城京の朱雀門(復元)



正倉院

奈良の平城京は、唐の長安を模して建設されたと考えられている。正倉院には、唐を通じて入ってきた宝物がたくさんある。